

経営非常事態にあたっての特別決議

2024年5月25日

第54回通常総代会

1 経営の非常事態

- (1) 府庁生協は1972年の設立以来52年間、府職員の福利厚生の一翼を担うべく食堂や売店をはじめとして様々な事業活動を行ってきました。
- (2) しかし、時代の流れや経済の状況、府庁における経営環境は、創立当時から大きく変化しました。供給高(売上高)は、ピークだったバブル直後の1994年の20億6千万円が、30年後の2023年は10分の1以下の1億8千万円になっています。この変化は、バブル後の日本経済の構造変化、公共団体の財政や体制、福利厚生等への変化、職員の生活スタイルや意識の変化、IT化の進展などの中で、事業の廃止や売上の減少をきたした結果です。
- (3) 府庁生協ではこの厳しい経営環境の変化に対して経営を継続すべく、事業の見直しや経費の削減を最大限に続けてきましたが、経営の維持は非常に困難なものでした。そして、この困難を決定的にしたのが2020年からのコロナでした。
- (4) それでもコロナ後の回復を期待し、色々手を尽くし何とか経営を維持してきました。2023年にコロナは一応収束しましたがコロナ前と同じには戻らず、黒字を実現できませんでした。経営を保証する法定準備金のごくわずかとなっており、このまま回復がなければ生協の継続が難しい非常事態となっており、解散の判断を組合員の皆様に求めることも考えられます。

【法定準備金】2019年度 19,160千円 2020年度 16,324千円 2021年度 13,362千円
2022年度 4,527千円 2023年度 3,942千円

2 非常事態への対応

《 生協は、みんなが「出資者」であり、「利用者」であり、「運営者」です 》

この非常事態にあたり、組合員の皆様には、この生協の位置づけを今一度お考えいただき、いっそうの生協利用と生協のあり方へのご意見をお願いします。

例えば、週1回しか利用しない方は週2回に、週2回の方は週3回にというように利用を拡大してください。普段あまり利用しない方は月に1回でも2回でもご利用をお願いします。また、親睦会の行事や旅行等でも生協をご利用ください。

生協のいろいろな事業はホームページに載せています。今日の食堂や弁当のメニューは何か？おすすめ商品は何か？など、是非ホームページをご覧ください。

そして、生協の商品や運営にご意見を寄せてください。一言カードもあります。皆様のご協力で改善が図れるよう強く訴えます。